

令和元年度 岩手県立大野高等学校第2回学校評議員会報告

- 1 日 時 令和2年2月20日(木) 15:30～16:30
- 2 場 所 本校応接室
- 3 出席者 学校評議員4名、本校職員5名(学校長、副校長、事務長、総務職員2名)
- 4 次 第 (1)開会 (2)学校長挨拶 (3)学校概況説明 (4)質疑・意見交換 (5)閉会
- 5 内 容 次第の(2)～(4)から抜粋。

(2) 校長挨拶

日頃から学校の教育活動にご協力いただき感謝している。基礎力確認調査の結果等から、生徒学力は年々向上をしている。その一方、生徒数減や職員数減などの課題もある。本日は学校評価アンケート結果等の資料を用意し、それらも参考にしつつ、様々な観点からご意見をいただきたい。

(学校経営計画・及び学校評価アンケートの説明：本紙では割愛)

(3) 学校概況説明

3年生は大学一般受験に向け、努力を続けている生徒もいる。今年度も、高校総体開会式、里山整備事業、部活動における中高連携・近隣高校連携など多岐に渡り生徒が活躍した。部員不足の中、野球・サッカー・女子ソフトテニスに合同チームで参加した。卓球女子個人戦10位や男子バスケットボール部新人戦ベスト8入賞の快挙もあった。1年生は探究学習での葛巻のまちづくり視察、生徒会執行部においては小規模校サミットに参加等の新しい試みも見られた。また、久慈平荘様との合同避難訓練などを通して地域連携の大切さや高校生が地域に対して果たせる役割も自覚したようである。

(4) 質疑・意見交換(質疑中心に記載。また、生徒の個人情報に関わる具体的な内容は割愛。)

Aさん：(意見)アンケート結果を見ると、子供と保護者の感じ方の差異(子は家庭学習をやっているかと答えているのに対し、保護者は子が家庭学習をやっていないと感じている結果差)がある。また、アンケートを見るとBよりAが多い。このことが学力に結びついたと考えられる。

Bさん：進路についても、大学入学希望者数は増えているのか？

学校回答：大学進学率及び、大学進学希望者数は学年によって差異がある。

Cさん：センター試験が今年度で終わり、共通テストへの移行するようである。その際、思考力などが問われるので、里山整備事業などが、問題解決能力の醸成などにつながりうるか。

学校回答：今後は、読む量・書く量等が増える。推薦入試も面接だけではなく学力も求められる。里山整備は総合的に自然をとらえる力をつけられる一方、行事として参加するだけになっている面もある点が問題。あらゆる入試に対応できるよう普通コースの学力向上に努めていきたい。

Cさん：子供の多様性も増しているが、生徒の特性に応じた指導について教えてほしい。

学校回答：進路・学業・性格特性など個に応じた指導を現在継続中である。また、地域性もあるかもしれないが、生徒同士で互いの特性を理解しながら助け合っているという風土が培われているため、多様性を認め合う環境が出来ているようだ。

Dさん：生徒数が減ってきている。R2年度の部活動運営はどのようになりそうか。

学校回答：今年度よりサッカー部と女子バスケ部は募集停止となっている。野球部は新入生が入らない場合は休部となる。総合文化部と自然科学部を1つの部として活動させる。

Bさん：今年から支援員の方を配置したようですが、来年度以降継続予定か。

学校回答：来年度も継続できるよう県には要望している。

Cさん：(学校回答に対し)少しの支援で子供たちが前に進めるので、支援員さんの存在は必要。

6 備 考

来年度は令和2年5月13日(水)を予定している。